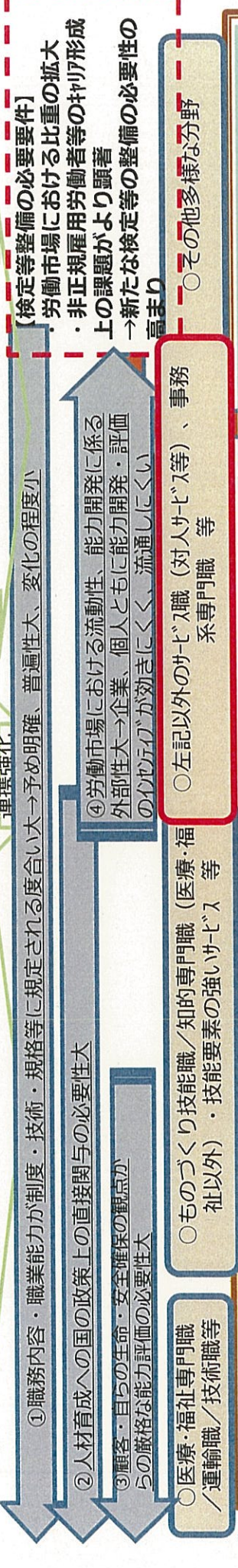


「職業能力見える化」推進に資する職業能力評価体系整備の全体像のイメージ

○教育訓練機関・プログラム
 ○需給調整機関によるキャリア支援、マッチング

教育訓練の成果をマッチングに活かす観点からの連携強化
 ・求人、求職情報への能力評価要素盛り込み等マッチング機能強化

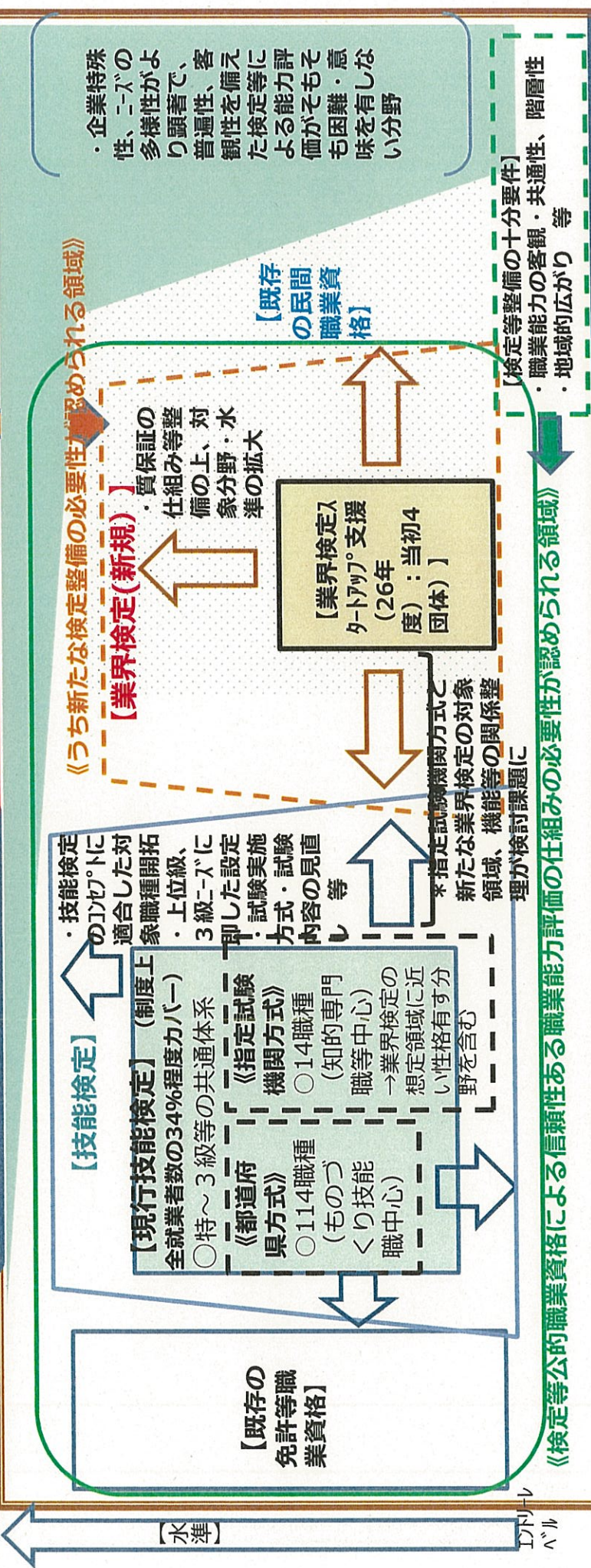
【業種・職種】



【検定等整備の必要要件】
 ・労働市場における比重の拡大
 ・非正規雇用労働者等のキャリア形成上の課題がより顕著
 →新たな検定等の整備の必要性の高まり

○左記以外のサービス職（対人サービス等）、事務系専門職等
 ○その他多様な分野

④労働市場における流動性、能力開発に係る外部性大→企業、個人ともに能力開発・評価のインセンティブが効きにくく、流通しにくい
 ○左記以外のサービス職（対人サービス等）、事務系専門職等
 ○その他多様な分野



【技能検定】

・技能検定のインセンティブに適合した対象職種開拓
 ・上級、3級に即した設定方式・試験内容の見直し等
 ＊指定試験機関方式で新たな業界検定の対象領域、機能等の関係整理が検討課題に

【現行技能検定】（制度上全就業者数の34%程度カバー）
 ○特～3級等の共通体系
 《都道府県方式》
 ○114職種（ものづくり技能職中心）
 《指定試験機関方式》
 ○14職種（知的専門職等中心）
 →業界検定の想定領域に近い性格有す分野を含む

【既存の免許等職業資格】

《うち新たな検定整備の必要性が認められる領域》

【業界検定(新規)】
 ・質保証の仕組み等整備の上、対象分野・水準の拡大
 【業界検定スタートアップ支援（26年度：当初4団体）】

【既存の民間職業資格】

【検定等整備の十分要件】
 ・職業能力の客観・共通性、階層性
 ・地域的広がり等

《検定等公的職業資格による信頼性ある職業能力評価の仕組みの必要性が認められる領域》

○受検のインセンティブ・支援措置
 →職業能力評価体系の「普及・市場性確保」の基盤
 ○各検定等の質保証基準
 →職業能力評価体系の「共通性」の基盤
 ○職業能力評価基準
 →職業能力評価体系の「中身」の基盤